【令和４年度　学校関係者評価報告】

１．開催日時　　令和５年３月１３日（月）　１０時３０分～１２時
２．開催場所　　札幌どうぶつ専門学校　３階教室
３．出席委員　　企業関係者２名　　地域住人１名　　卒業生１名　　学校側２名
４．会議内容
学校側から自己評価表に対しての説明及び委員からの意見
（1）教育理念・目標
・例年通り教育理念、目標に向かい適切な運営を心掛けている。
・キャッチフレーズ「動物と生きる人のための学校」が定着してきた。本校の考えは動物のための学校ではなく「人・飼い主さん」のための学校を意識している。
（意見）
・学校の理念、教育目標に沿った業界が求める人材を育てることを今後も続けてもらいたい。

（2）学校運営
・年間の事業計画については、新型コロナ感染症も３年目となり、２年次の研修旅行をはじめとして概ね予定通り開催することができた。
・副校長を登用し細かな規程の見直しを行った。

（3）教育活動
・進級、卒業に関する判定基準の見直しを行い、より明確化とした。
・愛玩動物看護学科のカリキュラムに関しては特に明確化されてきた。
（意見）
・就職希望の学生が持参する履歴書を見ると、「接客が苦手」と記載している学生もいた。
当然ペットサロンでも飼い主さんへの接客は当たり前のことなので、コミュニケーション力を身に着けてもらいたいと思う。

（4）学修成果
・就職に関しては、ペット業界または動物病院に就職希望をしない人が増えてきている。
例としては、動物看護師の学生が、「薬品アレルギーがあるので動物病院は無理」「動物病院実習で犬の死を見て自分に合わない」などもある。
・近年、資格取得を目指さない学生も増えてきている。
・退学率は減少してきている。しかし、精神的に脆い学生もおり、周りからの言葉一つで退学につながることもある。
（意見）
・退職する場合、時期に関係がなく突然言われることが多いので求人に困っている。
・現状トリマー等は全体的に不足している。
・個人店舗などはもともと人的に余裕がないので、退職者がでた場合すぐに補充は難しい状況。

（5）学生支援
・新型コロナの関係で学生との距離感ができた。また、オープンキャンパス参加者も減った。
（意見）
・実習生ですが、自分から積極的に「何かありませんか？」と聞いてくる学生は少ない。
また、一度言われたことも忘れてしまうことも多く、学校から実習に対する指導をしてもらいたい。
・学生の行動は基本的にこれまでの家庭生活で身に着けているので、すぐに治らない。
嫌なことがあればすぐに態度に現れることが多い。

（６）教育環境
・学生数が増えたことによって、器具の不足が生じないよう追加購入を行った。
・防災体制では、来校している犬の避難も考え、飼い主さんには犬のキャリーを用意してもらっている。
（意見）
・今の話を聞いて、お店でも防災について考えておく必要があることを学んだ。

（７）学生の受入れ募集
・新型コロナの影響で高校または先生によっては学校説明等に伺えないこともあった。
（意見）
・在校生の持つ影響力は大きいので、学生募集に活用できれば良いと思う。

（８）財務
・旧校舎が賃貸を行うにあたり改修等が必要となり、予想以上の出費があった。
（意見）
・建築物の減価償却は５０年あるので、古くなると改修経費を見込んでおく必要がある。

（９）法令等の遵守
・学校の健康保険等を私学共済事業団に２０２３年１月１日から変更となる。
・個人情報の保護に関して、NTT とデーターの保護について話を進めている。

(10)　社会貢献・地域貢献
・学校の授業の一環で犬を連れて高齢者施設等を訪問していたが、新型コロナの影響で高齢者施設は訪問不可であったので、入園できた児童施設の訪問を行った。

(11)　今後への取組について
各委員から頂いたご意見･ご指導を踏まえ、今後本校において問題点の改善に取り組んでいくこととする。